

平成 20 年 度 年 間 指 導 計 画

広島市立沼田高等学校

科目	現代社会	単位数	2	対象生徒	1 学年
目標	現実社会の出来事、制度、組織などを科学的に理解し、考察することを通して、民主主義の本質について見識を深める。また、社会で生じる諸問題について、広い視野に立って客観的に理解し、自己の意見を形成する。				
評価方法	定期テスト得点・小テスト得点・課題（ノート製作 レポート製作 など）				
使用教材	利用教科書：「現代社会」東京書籍 利用資料集：「最新現代社会資料集2004」 授業プリント				
学期	月	指導内容及びその編成			備考
1 学期	4	第 1 部現代に生きるわたしたちの課題 地球環境とわたしたちの未来 資源・エネルギー問題とわたしたちの生き方 科学技術の発達と生命 日常生活と宗教や芸術とのかかわり ( 豊かな生活と福祉社会のありかた) 経済分野にて			
	5	第 2 部現代の社会と人間 第 1 章現代の社会生活と青年 1 現代社会の特質とわたしたちの生活 “ 大衆 ” の時代 情報化の進展と生活 国際化のなか人間 ( 少子・高齢化社会を迎えて) 経済分野にて学習			中間試験
	6	2 現代社会と青年の生き方 青年であること 社会とのつながり 生きがいと進路の創造 3 よりよく生きることを求めて よく生きるということ 近代科学の考え方			
	7	人間の尊厳 日本人のものの考え方 外来文化の受容と日本の伝統思想			期末試験
2 学期	9	第 2 章現代の経済と国民福祉 1 経済のしくみ 技術革新と産業社会の変化 現代の企業 市場経済のしくみ 国民経済の活動基準			
	10	2 政府の経済的役割 市場と政府 財政と財政制度 金融の役割 3 変化する日本経済 高度経済成長と産業構造の転換 経済のバブル化とその崩壊 日本の財政問題 金融の自由化と国際化 中小企業と農業			中間試験

